

闇バイトに関するアンケート調査 結果公表

512人の若者の声が集まりました

概要・目的

困窮している若者が闇バイトに関してどのような経験を有しているかや相談資源・相談ハードルについて知り、実態を広く発信し、取り組みに繋げていく

調査対象

認定NPO法人D×Pが運営するLINE相談
「ユキサキチャット」利用者

回答者数

期間中利用者9008人のうち512人が回答（回答率5.6%）

アンケート期間

2025年1月31日から2025年2月15日

回答者512人の属性



平均年齢は20.1歳

「男性」を選んだ方の平均年齢は20.2歳／「女性」を選んだ方の平均年齢は20.0歳

※ユキサキチャットはもともと女性が男性の約2.9倍登録していることから、本調査でも女性の回答が多くなっている

性別

得点

答えたくない

4.5% (23人)

その他

4.9% (25人)

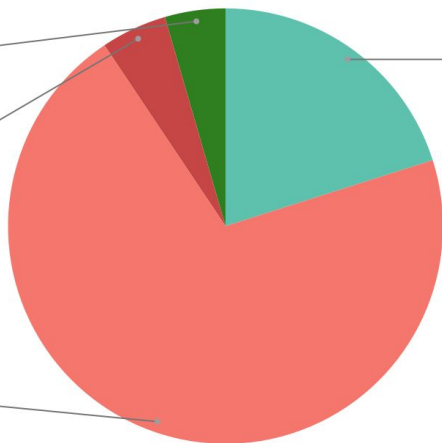
女

70.5%

(361人)

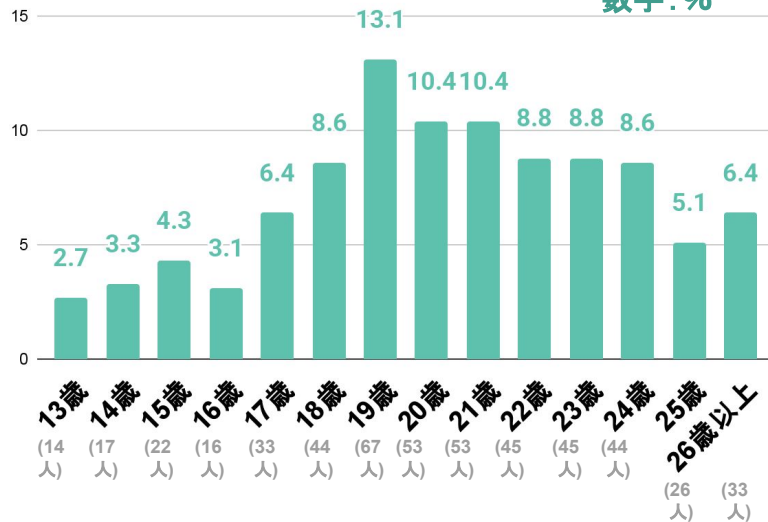
男

20.1%
(103人)



年齢

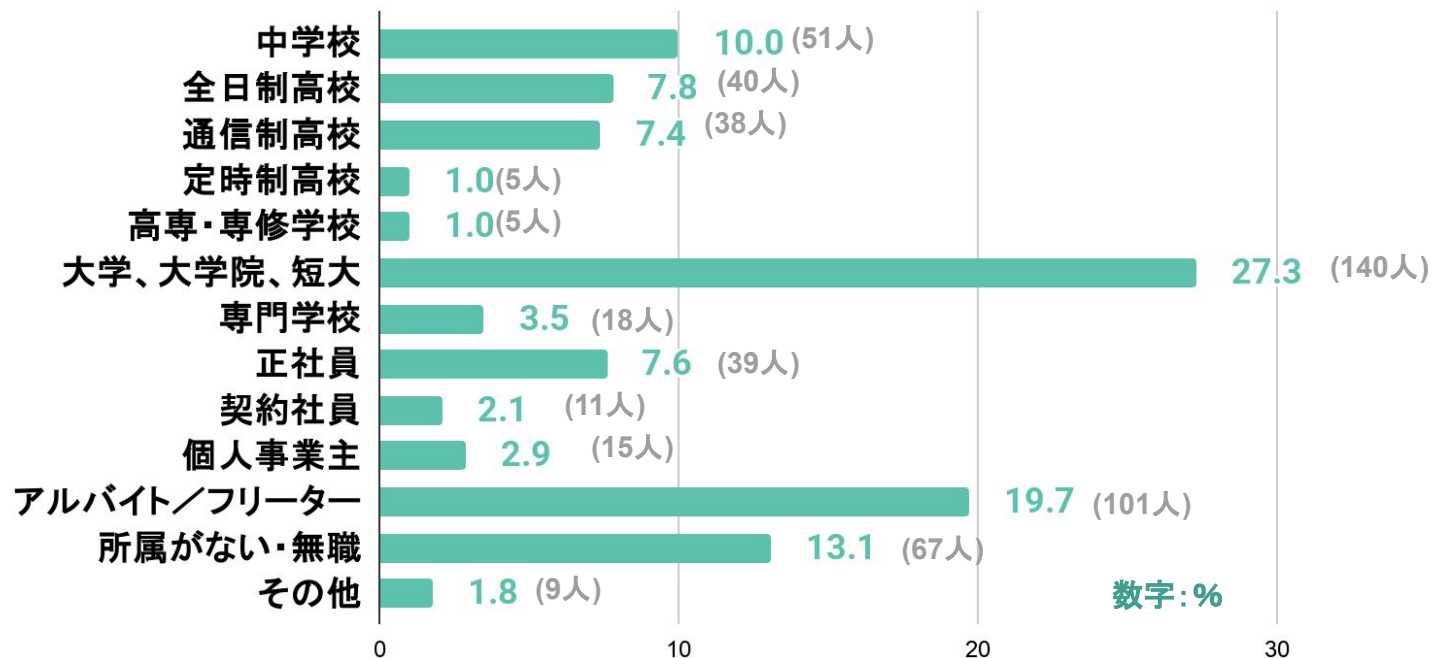
数字: %



回答者の所属(n=512) ※複数回答



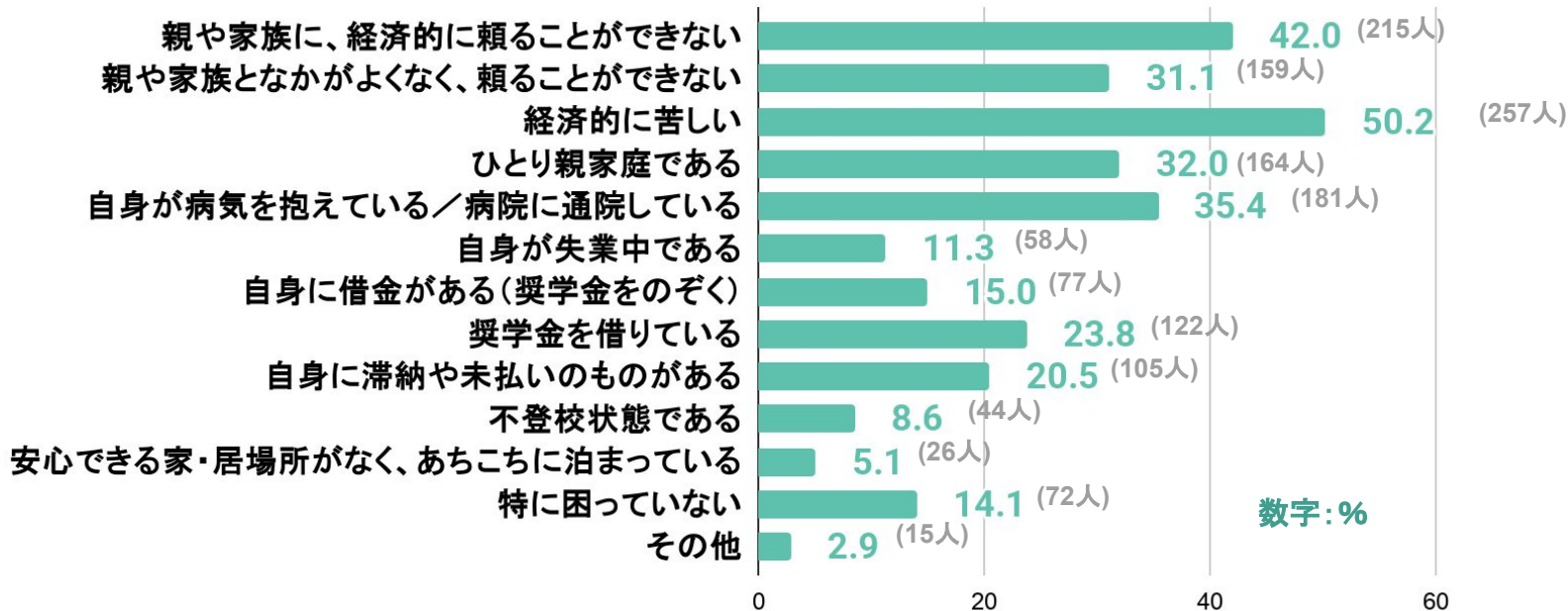
回答者のうち297人（58.0％）が教育機関に所属。その他42.0％は会社員、アルバイト、無職等である。



回答者の状況(n=512) ※複数回答



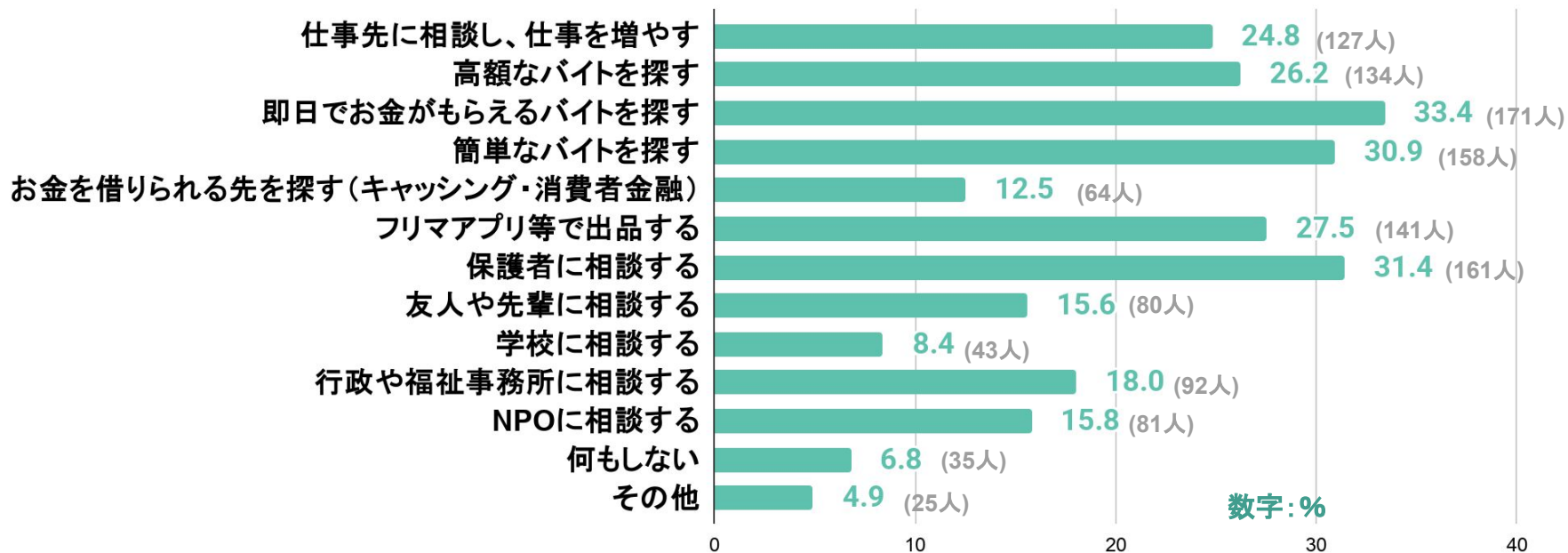
「特に困っていない」のは14.1%のみ。困りごとで多いのは「経済的に苦しい」50.2%、「親や家族に、経済的に頼ることができない」42.0%、「自身が病気を抱えている／病院に通院している」35.4%。



生活費に困ったとき、どうするか_(n=512) ※複数回答

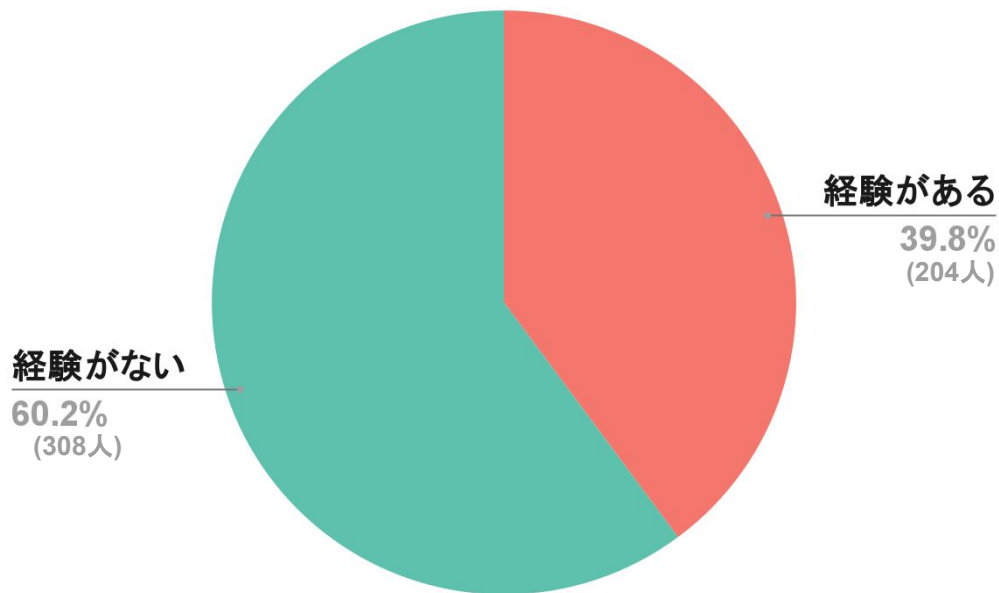


3分の1の若者が、「即日でお金がもらえるバイトを探す」を選択。学校・行政・NPO等に相談するより、自分で仕事・バイトを増やしてどうにかする、家族に相談する傾向が見られる。



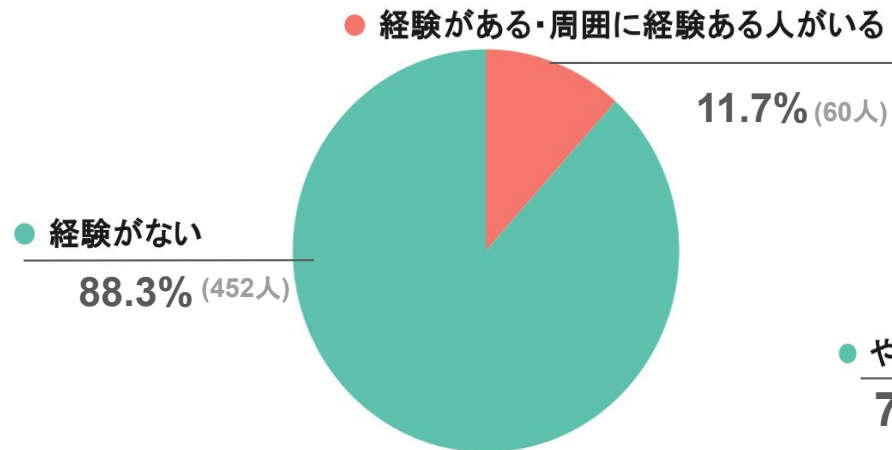
実際にあやしい求人を見たり誘われた経験があるのは39.8%であった。

Q:闇バイトと思われるあやしい求人を見たり、誘われた経験はありますか？
※簡単に稼げる、高収入、1日で数万円といった内容

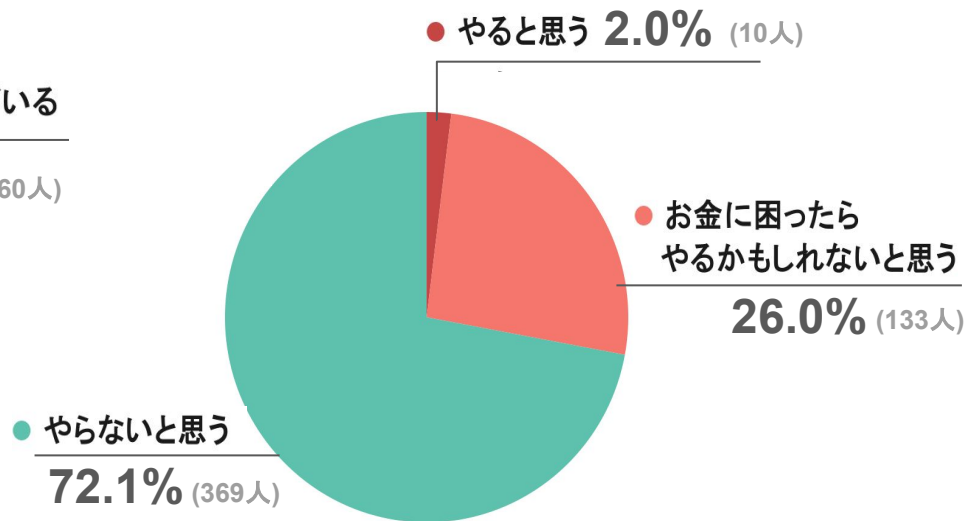


11.7%が「経験がある・周囲に経験ある人がいる」と回答。4人に1人が、「お金に困ったらやるかもしれないと思う」と回答。

Q.闇バイトや怪しいバイトの経験、
または知人にその経験者はいますか？



Q.今後、もし闇バイトに誘われることがあったら、
どうしますか？

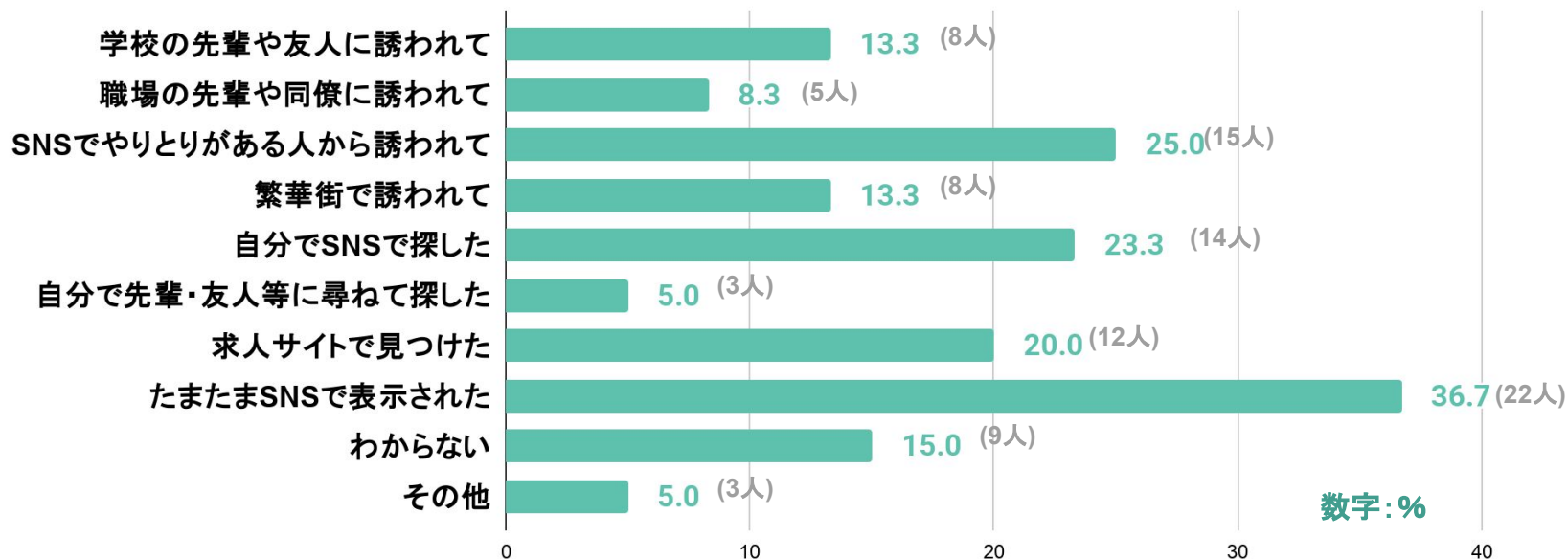


闇バイト経験者（周囲の経験含む）の認知経路（n=60）※複数回答



3人に1人以上が、たまたまSNSで表示されている。その他、「SNSでやりとりがある人から誘われて」「自分でSNSで探した」「求人サイトで見つけた」が多い。

Q:1つ上で「経験がある・周囲に経験ある人がいる」の方は、どこで闇バイトやあやしいバイトを見つけましたか？

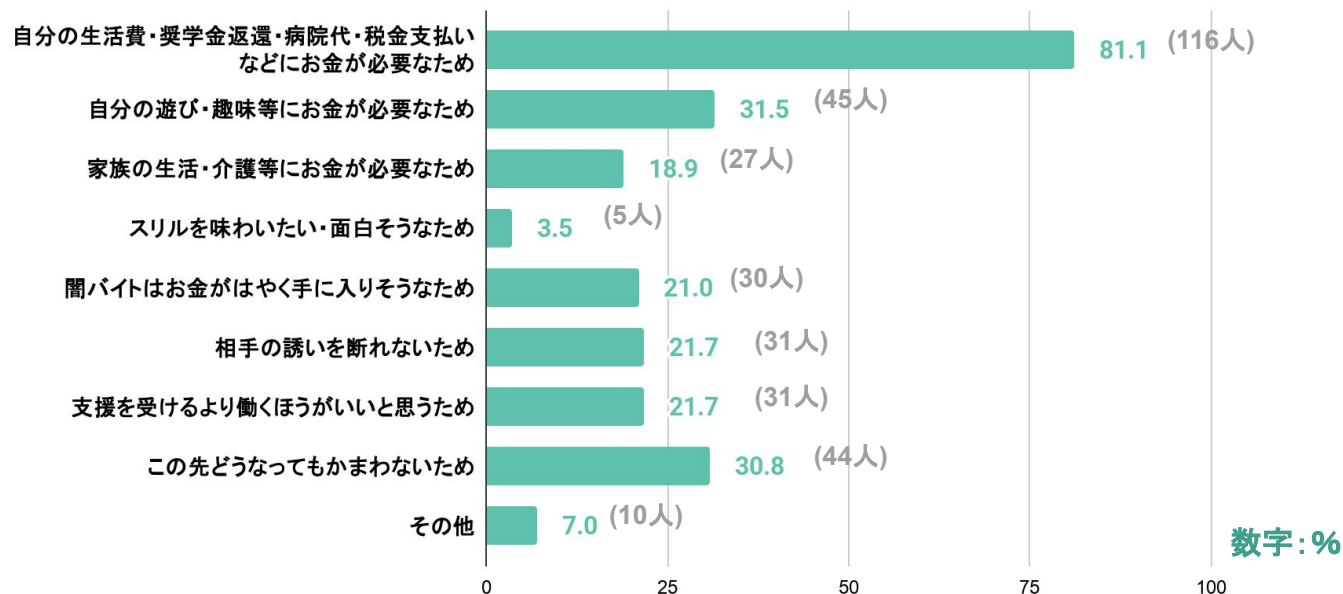


闇バイトを検討する理由 (n=143) ※複数回答



81.1%が「生活費・奨学金返還・病院代・税金支払いなどにお金が必要なため」と回答。また30.8%が「この先どうなってもかまわないため」と回答している。

Q:1つ上で「やると思う」「お金に困ったらやるかもしれないと思う」を選んだ方のみお答えください。理由は何ですか？





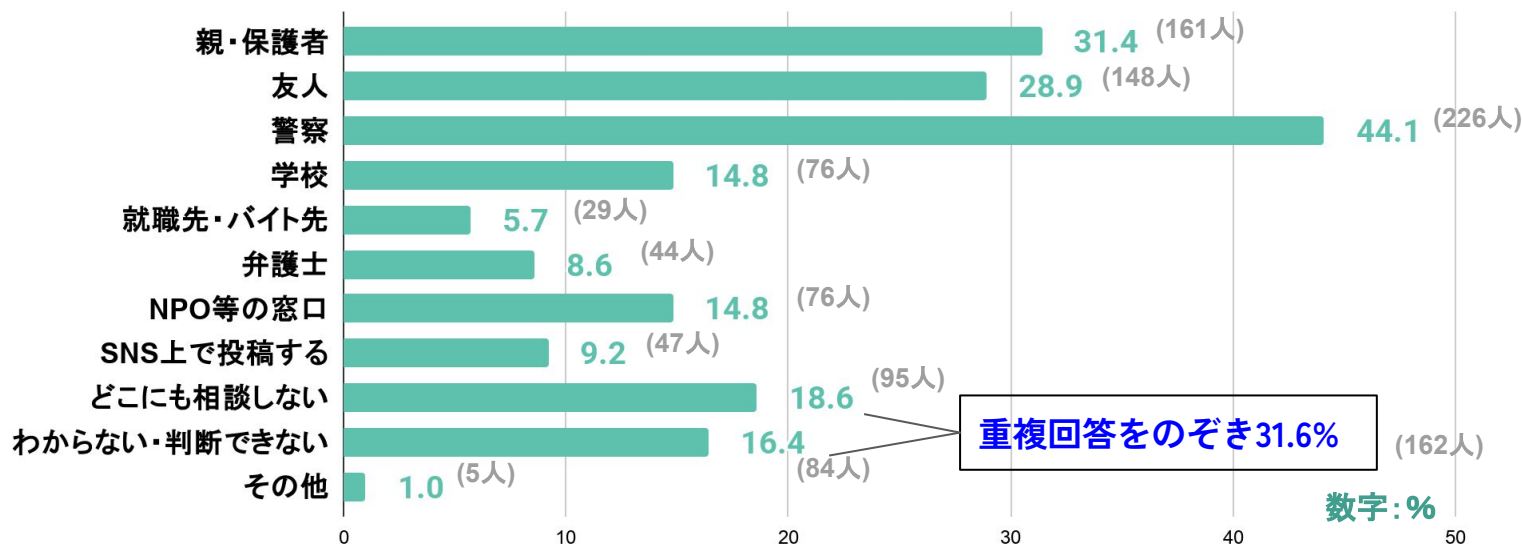
- 自傷の意味もあると思う
- 支援に受けられるものがないため
- どうでもいいから
- タイミーなどでバイトを探したりして食いつないでいるが、闇バイトを防ぎきれない案件などもあり、防ぎきれないかもしれない
- いくつもバイトを掛け持つことや、身分証を出して雇ってもらうことを考えたら、簡単な仕事を選んでしまうかもしれない
- 支援の相談に行ったら、「おまえは闇バイトするしかない」と言われた

闇バイトに誘われた際の相談先 (n=512) ※複数回答



44.1%が「警察」を相談先にあげ、続いて「親・保護者」「友人」など身近な存在が続く。
しかし31.6%は「どこにも相談しない」「わからない・判断できない」と答えている。

Q:もし闇バイトや犯罪行為に誘われたら、どこに相談しますか？

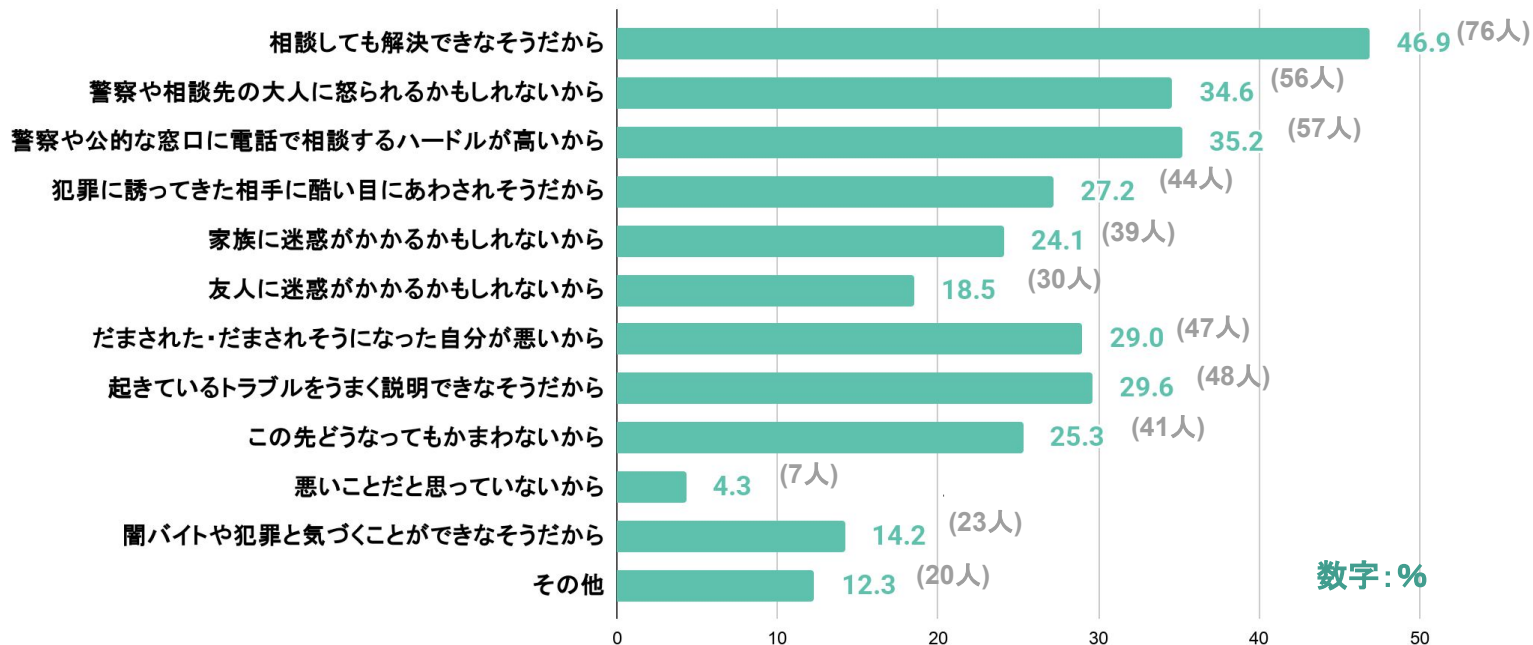


相談しない・相談先がわからない理由 (n=162) ※複数回答



「相談しても解決できなそうだから」が46.9%。また、3人に1人が「警察や相談先の大人に怒られるかもしれない」「電話で相談するハードルが高い」と感じている。

Q:1つ上で「どこにも相談しない」「わからない・判断できない」を選んだ方のみお答えください。理由はなんですか？



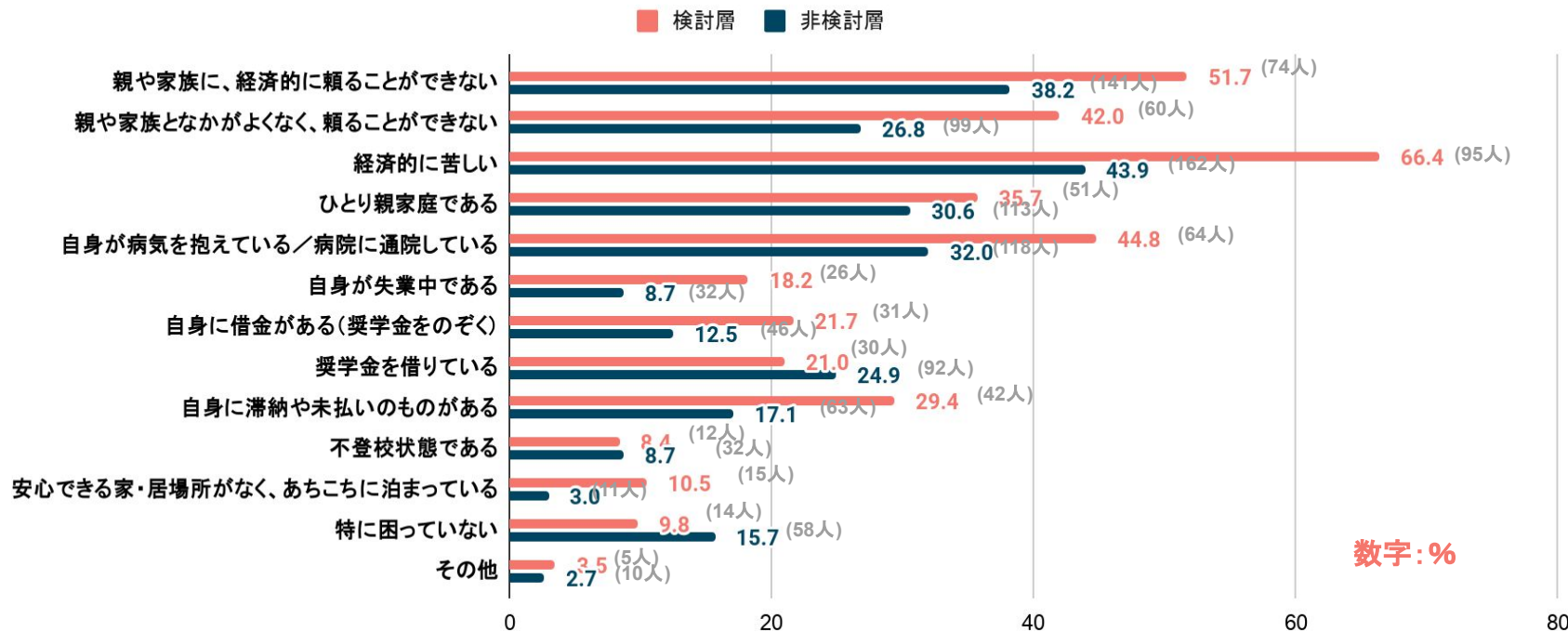


- 断れると思うから
- 相談できる相手がいないから
- 警察や公的な窓口が自分を確実に守ってくれるとは思えないから。
犯罪組織に勝る知恵や力を日本の警察や公的組織が持っているとは思えないから。
- 家族と繋がりそうでむり
- お金の問題が解決しなさそうだから

闇バイト検討層と非検討層の比較／困りごと（検討層n=143、非検討層n=369）



検討層・非検討層で大きく差がある困りごとは「経済的に苦しい」（22.5ポイント差、1.51倍）、「親や家族となかがよくなく、頼ることができない」（15.2ポイント差、1.57倍）、「親や家族に、経済的に頼ることができない」（13.5ポイント差、1.35倍）である。比率に差があるのは「安心できる家・居場所がなくあちこちに泊まっている」（3.5倍）、「自身が失業中である」（2.09倍）、「自身に借金がある（奨学金をのぞく）」（1.74倍）、「自身に滞納や未払いのものがあ」（1.72倍）、であり、安定した住居・仕事を持てていないことも示唆される。また検討層は平均3.53個、非検討層は2.49個の悩みを抱えており、検討層はより複合的な困難を抱えている傾向がある。



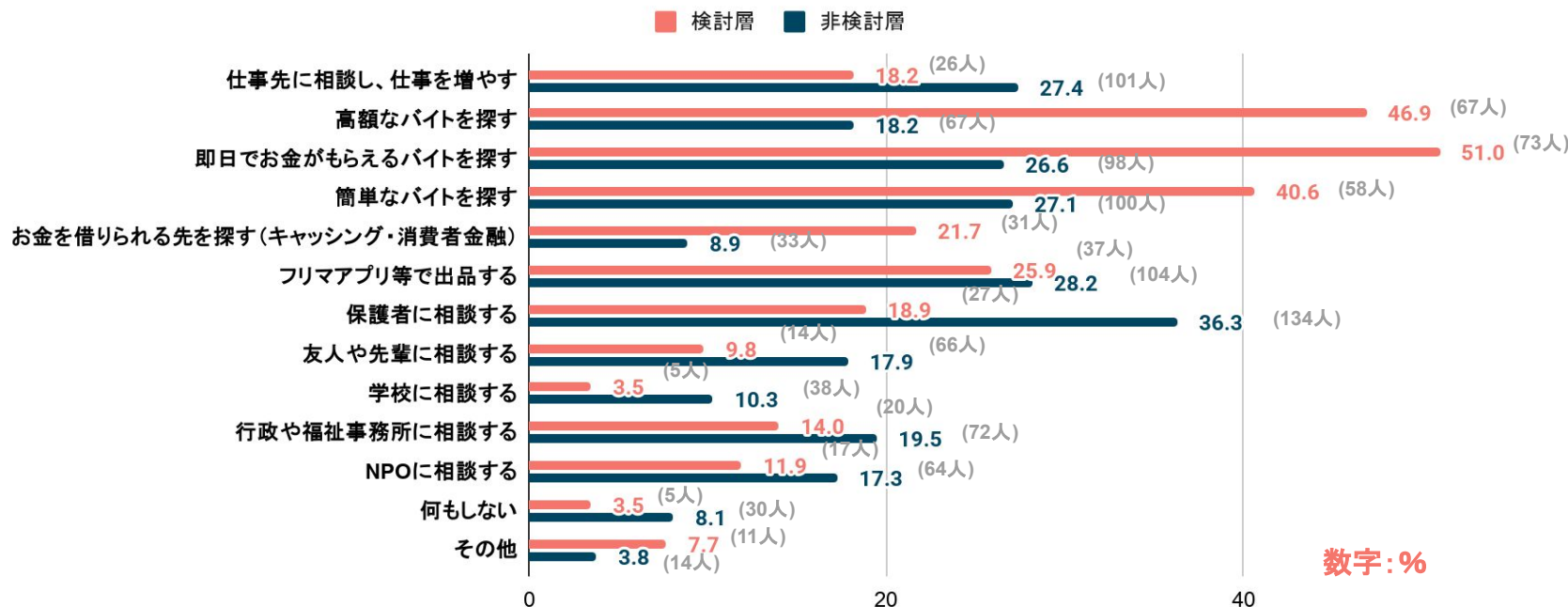
闇バイト検討層と非検討層の比較／生活費に困ったときどうするか



(検討層n=143、非検討層n=369)

検討層・非検討層で大きく差があるのは「高額なバイトを探す」(28.7ポイント差、2.58倍)、「即日でお金がもらえるバイトを探す」(24.4ポイント差、1.92倍)、「保護者に相談する」(-17.4ポイント差、0.52倍)である。比率に差があるのは「お金を借りられる先を探す(キャッシング・消費者金融)」(2.44倍)である。

闇バイト検討層は、非検討層と比べると、仕事先・保護者・友人・学校・行政・NPO等、いずれにも相談しない傾向を示しており、周囲に相談せず(できず)、高額・即金バイトや借金先を探すなどひとりでなんとかしようとする傾向がみられる。



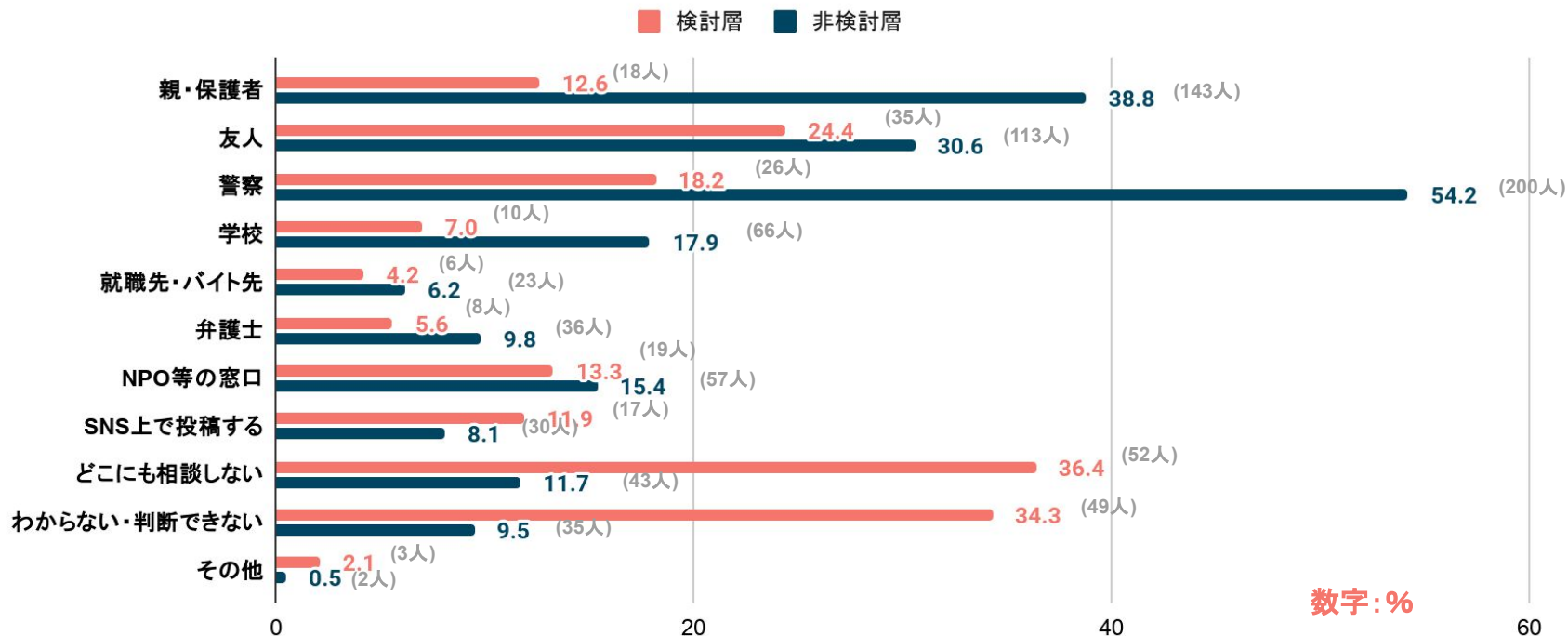
闇バイト検討層と非検討層の比較／闇バイトに誘われた場合の相談先

(検討層n=143、非検討層n=369)



検討層・非検討層で大きく差があるのは「警察」(-36ポイント差、0.34倍)、「親・保護者」(-26.2ポイント差、0.32倍)、「わからない・判断できない」(24.8ポイント差、3.61倍)、「どこにも相談しない」(24.7ポイント差、3.11倍)である。

闇バイト検討層は、警察や保護者へ相談せず、相談先がわからない・どこにも相談しない傾向がみられる。



闇バイト検討層と非検討層の比較／闇バイト認知と経験 (検討層n=143、非検討層n=369)



闇バイト検討層のほうが、「闇バイト求人を見たり、誘われた経験がある」(20.8ポイント差、1.6倍)「闇バイトの経験がある・周囲に経験ある人がいる」(16.8ポイント差、3.4倍)という傾向があり、闇バイトとの接点が多くある。

